令和3年度　第14号（通刊112号）

発行　令和4年3月24日

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所
青森市水産振興センター
青森地方水産業改良普及所

付着生物ラーバ情報

洋上篭洗浄は異常貝の状況を確認しながら行いましょう

1　ラーバ等の出現状況

ラーバ等の調査地点は図1、出現数は表1のとおりです。

(1) キヌマトイガイ（通称：コメガキ）

ラーバは久栗坂沖で5.6個体/m³、野辺地沖で75.0個体/m³、川内沖で477.3個体/m³見られました（表1、図2）。

(2) ユウレイボヤ(通称：ハナ)

ラーバは見られていません（表1）。

(3) ミネフジツボ（通称：シロガキ）

ラーバは川内沖で0.8個体/m³見られました（表1）。

(4) オベリア類（クラゲの仲間、通称クサ）、アミクサ（海藻、通称クサ）

小枝は奥内沖、久栗坂沖、野辺地沖で0.6～1.7個/m³見られましたが、クラゲは見られていません（表1）。

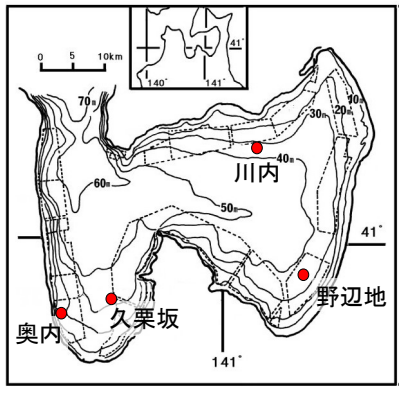

図1　ラーバ調査地点

2　今後の見込み

現在、陸奥湾の中層水温は4～8℃台と、平年並み～やや高めになっています。

(1) キヌマトイガイ

ラーバが継続して出現していることから、**篭や耳吊り、マボヤ採苗器への付着が増加**すると思われます。

(2) ユウレイボヤ

1月下旬以降、ラーバは出現していませんが、多くの地域でそれ以前に付着した**ユウレイボヤが多量**に見られていることから、今春の半成貝の**出荷作業効率は低下**するものと思われます。

(3) ミネフジツボ

付着直前のラーバはほとんど見られていないので、**付着は終了**したと思われます。

(4) オベリア類、アミクサ

小枝とクラゲはほとんど見られていないので、**付着は少ない可能性**があります。

表1　ラーバ等の出現状況　　単位：個体/m³

調査地点	調査月日	ﾕｳﾚｲﾎﾞﾔ	ｻﾞﾗﾎﾞﾔ	ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ	ﾑﾗｻｷｲｶﾞｲ	ﾐﾈﾌｼﾞﾂﾎﾞ	ｵﾍﾞﾘｱ類 ｸﾗｹﾞ	ｱﾐｸｻ 小枝
奥内沖	R4.3.18	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	1.7
久栗坂沖	R4.3.18	0.0	0.6	5.6	2.8	0.0	0.0	0.6
野辺地沖	R4.3.8	0.0	0.0	75.0	78.9	0.0	0.0	0.8
川内沖	R4.3.18	0.0	0.0	477.3	33.6	0.8	0.0	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

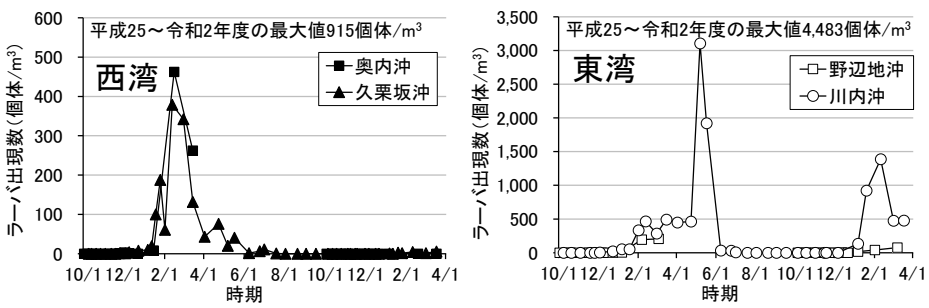

図2　ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲﾗｰﾊﾞ出現数の推移（令和2年10月～令和4年3月）

3　洋上篭洗浄の注意点

ホタテガイに**異常貝が多く見られる場合、洋上篭洗浄を行うことにより、さらに異常貝が増え、へい死する危険性があります**（図3）。

洋上篭洗浄は**異常貝の状況を確認**しながら行いましょう。また、**作業は**ホタテガイが凍結しないように**暖かい日に行うようにしましょう**。

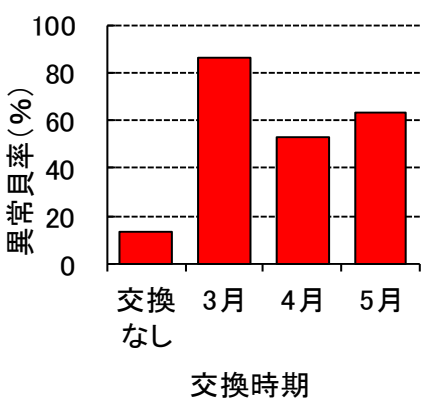

図3　洋上篭洗浄を模したネット交換によるホタテガイの異常貝率（西湾で平成29年6月測定）

4　お知らせ

今季の付着生物ラーバ情報は今回で終了です。今後のキヌマトイガイ、ムラサキイガイのラーバの出現動向については、ホタテガイ採苗速報を参考にして下さい。

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター　水産総合研究所
住　所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155　FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード